

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

2月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

#### インフルエンザ

2月の報告数は0件（前月比-、前年同月比-）でした。1月に2名患者発生しましたが、2月は再び0件となりました。例年であれば流行は3月～4月にかけて終息していますが、しばらく流行監視が必要です。

### 小児科定点

#### （全体傾向）

2月の報告数は1,347件（前月比0.67、前年同月比0.40）でした。発生数の大幅な減少はインフルエンザ、A群溶連菌性咽頭炎、感染性胃腸炎の減少に因るものです。一方で比較的多く報告された疾患はRSウイルス感染症でした。詳細は疾患別傾向をご覧ください。

#### （疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数は398件（前月比2.3、前年同月比7.5）でした。例年の流行は8月から10月ですが、今シーズンは1月に患者数が増加し、2月はさらに増加しました。3月も流行が続く可能性があり、監視が必要です。菊池（22.00）、宇城（11.25）、熊本（11.00）で報告が多くなっています。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数は46件（前月比1.0、前年同月比0.4）でした。昨年より低い水準が続いています。1～2歳で全体の7割を占めました（33/46）。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数は104件（前月比0.9、前年同月比0.2）でした。例年冬から春にかけて患者数が多くなりますが、昨夏以降流行が抑えられています。有明（5.00）でやや多く報告されました。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数は484件（前月比0.4、前年同月比0.5）でした。昨年12月に患者数が急増しましたが、1月に減少に転じ、2月はさらに減少しました。全ての年齢層で患者が発生しています。菊池（18.80）、山鹿（18.00）、御船（13.67）、天草（11.50）で報告が多くなっています。
5. 水痘 : 報告数は16件（前月比0.8、前年同月比0.1）で、昨年より大幅に減少しています。
6. 手足口病 : 報告数は31件（前月比0.6、前年同月比0.3）でした。昨年から低水準が続いています。
7. 伝染性紅斑 : 報告数は5件（前月比5.0、前年同月比0.0）でした。患者数は前月に比べて増加しましたが、昨年と比較すると著しく低い水準です。
8. 突発性発疹 : 報告数は119件（前月比0.9、前年同月比1.3）で、前年とほぼ同程度の患者数です。
9. ヘルパンギーナ : 報告数は11件（前月比3.7、前年同月比0.5）でした。昨年8月に流行した後は少ない患者数で続いています。2月は前月より増加しましたが、昨年の半分程度の患者数です。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数は6件（前月比1.0、前年同月比0.4）でした。昨年から低水準が続いています。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 12 件(前月比 0.5、前年同月比 0.3)と減少しています。熊本 10 件、有明 2 件の報告です。年齢別では 30~49 歳にピークがあり、その他の年齢層では 1 歳、20~29 歳、60~69 歳代に各 1 件の報告です。

## STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：  
報告数 63 件(前月比 0.6、前年同月比 1.1)で、前月比、前年同月比とも著変なく、男女別は男性は 37 件、女性は 26 件でした。年齢別では男性は 15~69 歳と幅広い年代に、女性は 20~54 歳にみられています。地区別は熊本市が 49 件と圧倒的に多く、菊池・御船・八代・宇城が 3 件、有明が 2 件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数 12 件(前月比 0.6、前年同月比 0.6)で、前月比、前年同月比共に減少しています。男女別は男性が 5 件、女性は 7 件でした。年齢別では男性が 15~54 歳、女性は 15~49 歳にみられています。地区別は熊本市が 5 件、菊池が 4 件、宇城が 2 件、八代が 1 件でした。
3. 尖圭コンジローマ：  
報告数は 2 件(前月比 0.3、前年同月比 0.2)で、前月比、前年同月比で共に著減しています。男女別では共に 1 件で、年齢別では男性は 30 歳~34 歳、女性は 20 歳~24 歳でした。地区別では 2 例共に熊本市でした。
4. 淋菌感染症：  
報告数は 12 件(前月比 0.5、前年同月比 2.0)で、前月比で半減、前年前月比で倍増しています。男女別では男性が 11 件で、女性は 1 件のみでした。年齢別では男性は 15~64 歳に、女性は 25~29 歳でした。地区別では全 12 例が熊本市でした。

## 基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：  
報告数は 18 件(前月比：1.1、前年同月比：1.2、男女比：12/6)と増加傾向でした。熊本(9)、水俣・人吉・有明(2)、山鹿・菊池・阿蘇(1)でした。年齢分布としては 70 歳以上(13)、60~64 歳(2)と高齢者に多く、一方で 0~59 歳まで広く散発的に認めました。  
▼例年より多めの報告数でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：  
報告数は 4 件(前月比：-、前年同月比：2.0、男女比：2/2)と増加傾向でした。熊本・有明(2)でした。年齢分布としては 70 歳以上(3)、10~14 歳(1)でした。  
▼昨年より多めの報告数でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：  
報告数は 0 件(前月比：-、前年同月比：-、男女比：-/-)で報告はありませんでした。  
▼例年同様にほぼ報告はありません。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。  
▼例年より少ない報告数です。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は2件（前月比：2.0、前年同月比：2.0）と増加傾向でした。熊本(2)で20-24歳(1)、35-39歳(1)でした。  
▼例年より多めの報告数でした。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は2件（前月比：-、前年同月比：0.2）と増加傾向でした。熊本・人吉(1)でした。年齢分布としては70歳以上(2)でした。  
▼例年より少ない報告数ですが増加傾向にあり注意が必要です。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。  
▼例年並みの報告数です。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。  
▼昨年同様にほぼ報告はありません。

## 届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	12件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	2件
4類感染症	： レジオネラ症	4件
5類感染症	： カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	4件
	梅毒	9件
	百日咳	3件
指定感染症	： 新型コロナウイルス感染症	101件